

「広がる命のバトン」



骨髄ドナー登録説明員・移植医療者交流フォーラム

日時 令和7年11月27日(木)17時30分～19時10分

開催方法 Web参加 + 岐阜市民病院サルビアホール会場参加 (ハイブリッド)

プログラム 総合司会：岐阜赤十字病院 副院長・血液内科部長 澤田道夫 先生
Opening：日本赤十字社岐阜県赤十字センター所長 高橋 健 先生

一般講演 17時35分～18時15分 座長：岐阜市民病院 血液内科長 北川 順一 先生

1 岐阜県の移植治療の現状

岐阜大学医学部附属病院 血液・感染症内科 助教 中村 博 先生

2 岐阜県の骨髄バンクドナー登録 活動状況と課題など

岐阜骨髄献血希望者を募る会 田中 重勝 さん

3 病院ではバンクドナーにこのように提供いただきます

岐阜市民病院 血液内科 医長 山口 公大 先生

4 説明員かつ移植を受けた患者の立場からの報告

岐阜骨髄献血希望者を募る会 服部 真樹 さん

特別講演 18時15分～18時40分

座長：岐阜大学医学部附属病院 血液・感染症内科 准教授 兼村 信宏 先生

「日本の骨髄バンク 始まりの頃」

全国骨髄バンク推進連絡協議会 副会長 大谷 貴子 さん

意見交換会 18時40分～19時05分

司 会：岐阜市民病院 副院長 笠原 千嗣 先生

岐阜骨髄献血希望者を募る会 田中 重勝 さん

パネリスト：大谷貴子さん、県庁（行政）職員、中村博先生、横山能文先生、山口公大先生、

服部真樹さん、成人HCTC 岡田菜美さん、小児HCTC 小川丈二さん

Closing：岐阜大学医学部附属病院 小児科 臨床准教授 小関 道夫 先生

『岐阜地区造血細胞移植地域拠点病院セミナー』『地域がん診療連携拠点病院』『骨髄ドナー登録説明員養成研修会』（共催；岐阜市民病院、岐阜県、岐阜骨髄献血希望者を募る会、後援；日本赤十字社岐阜県赤十字センター、日本骨髄バンク）

参加方法
(申込不要)

①スマートフォンの場合

QRコードを読み込むとアプリが立ち上がります。

②パソコンの場合

<https://zoom.us/j/98390832164?pwd=cbu12azE3HfS1Bbc40e2AiMLmKCj5t.1>

上記リンクをクリック、又は
Zoomのwebサイトにアクセス
画面上部の「ミーティングに参加する」
から以下を入力

ミーティングID: 983 9083 2164

パスワード: Gifu2025



岐阜市民病院は、令和2年度より東海地区ブロックの造血細胞移植地域拠点病院に指定され、造血細胞移植医療の均てん化のために活動を行っています。今回その活動の一環として、岐阜地区の造血細胞移植に携わる方々を対象としたセミナーに加え、骨髄ドナー登録説明員の皆さんとの交流会を開催いたします。

【目的】

- ・患者さんを適切に移植病院につなげる連携
- ・LTFU外来開設、移植後患者さんを受け入れる医療者との連携
- ・岐阜市・岐阜県医師会との連携
- ・若手医師・HCTC育成を含めた同種移植施設の連携
- ・岐阜県赤十字センター・岐阜骨髄献血希望者を募る会との連携

【対象】

造血細胞移植を含む血液造血器腫瘍疾患にかかわる医師、看護師、HCTC、メディカルスタッフ、事務担当者、行政担当者、医師会実地医家、骨髄ドナー登録説明員の方々

➤ 造血細胞移植推進拠点病院事業とは？

厚生労働省が進める造血幹細胞移植医療体制整備事業は、白血病等の造血機能障害に対する有効な治療法である造血幹細胞移植を受けようとする患者が、どの地域のどの病院においても、疾病の種類やステージに応じた最適な造血幹細胞移植を受けることができ、さらに造血幹細胞移植を受けた患者が、どの地域に居住していても、質の保たれた生活を送り、長期のフォローアップを受けることができる医療提供体制を構築することを目的としています。全国9ブロックに12施設の造血細胞移植推進拠点病院が指定され、各ブロックごとの地域拠点病院と連携しながら、造血細胞移植医療の体制充実にに向けた取り組みを行っています。

【お問合わせ先】

岐阜市民病院医事課 TEL 058-251-1101

担当: 木村 (e-mail: kimura-masatugu@city.gifu.gifu.jp)

